「サラダでげんき」を読んで

すらすらぷりんと

わたしは、本を読むことがきらいです。だから、学校からのしゅくだいで読書かんそう文が出たときにいやだという気もちになりました。せっかくなのであまり読んだことがない本を読みたいと思いとしょかんへ行きました。すると「サラダでげんき」という本がありました。読むのを楽しみにしながら家に帰って、すぐに読みはじめました。

「サラダでげんき」には、りっちゃんという人が出てきます。この人はサラダ作りをしています。きっかけはお母さんがびょうきでなんきになるお話です。

この本で気になったところは、どうぶつがサラダのつくり方を教えてくれるということです。ここが気になったりゆうはどうぶつと話せたら楽しいからです。りっちゃんがどうぶつが何かいいことをしたいと思ってサラダ作りをしますそして、りっちゃんのお母さんがげんきになるお話です。

うぶつとお話ししたのを読んで、わたしは、どうぶつと楽しく話してみたいという気もちになりました。

ほかにもお母さんがサラダを食べて元気になったところが気になりました。なぜならりっちゃんがサラダをつくったからですわたしがりっちゃんでもお母さんのかぜがよくなることをします。わたしにもりっちゃんと同じようなことがありました。ようちえんのときお母さんの家でわたしはむぎちゃをつくりました。なぜならお母さんがかぜをひいたからです。このときお母さんに早くよくなってほしいという気もちになりました。このことからりっちゃんもお母さんに早くよくなってほしいという気もちだったのかと思いました。

この本を読みおわって、わたしはお母さんやお父さんにいつも元気でいてほしいという気もちになりました。わたしにもできることがあるということがわかったのでこれからお母さんのおてつだいをしていきたいです。